



松代福祉寮だより なないろ

《発行所》
社会福祉法人 湖会
児童養護施設
松代福祉寮

〒381-1221 長野市松代町東条字腰巻108-2
☎(026)278-2556
URL <https://matsushiro-fukushi.jp>

《発行人》寮長 宮下 孝子
《印刷所》(株)日商印刷



創立70周年記念を終えて

社会福祉法人湖会 松代福祉寮 寮長 宮下 孝子



日頃より松代福祉寮に対して皆様より温かい御支援を賜り、誠にありがとうございます。

創立70周年記念事業を無事に終わることが出来、ひと安心でもあり、次の事業に向けて気持ちを引き締める状況でもあります。

相変わらずのコロナ禍で、入所児童には外出や家族交流の制限を行っている中、ふらっと相談事業や一時保護、市町村との一時預かり事業、里親レスパイト等の事業の継続していく必要性もあり、毎日が感染との綱渡りです。世間では「withコロナ」「新しい生活様式」と言われている中で、「基準を見直すべきではないか」「なぜ、受け入れしてくれないのか」という言葉を頂くこともあります。対応の未熟さに反省するべき点もありますが、日々子ども達の安心・安全な生活を保障していくためにも、関係機関と連携して対応して参ります。

本年度、創立70周年記念事業として記念誌「愛につながる」第4集を発刊しました。退所した児童の寄稿文に「私は4歳から中学2年になるまで9年間寮で生活しました。～中略～ 退所して社会人になると寮で生活していて良かったなど感じる日がきつと来ると思います。また、人生のうち数年でも過ごした場所は自分の故郷になります。今ある環境は当たり前にあるものではありません。」

松代福祉寮は、昭和27年玉井祐治初代寮長の「不幸な子ども達のため生涯を捧げたい」という思いから始まった施設です。子ども達を取り巻く環境は大きく変動している中ではありますが、松代福祉寮から巣立った子ども達が、実家と思えるような施設となるよう職員一同支援をしております。

関係者各位、そして地域の皆さん、今後とも宜しくお願いします。

松代福祉寮創立70周年記念事業



今年度は、松代福祉寮創立70周年記念ということで、4つの記念事業を行いました。

- ①記念誌の発刊** 「愛につながる第4集」は、多くの皆様からの心温まる御祝辞や御寄稿等により、歴史を伝え今後を生かす為の一助となり得ます。
- ②記念式典の実施** 去る10月15日、創立70周年記念式典を挙行致しました。長きに渡り御尽力頂きました皆様への感謝状の贈呈、御祝辞、寮生代表挨拶と久しぶりに皆様とお顔合わせをしておいた式典となりました。
- ③記念イベントの実施** 創立記念日に理事長より記念講演を行い、創立から70年を児童職員で振り返りました。また、記念式典と同日、第21回虹寮祭を開催し、当日は晴天にも恵まれ、地域の皆様を始めとして足を運んで頂きました。そして2月には寮長杯各家対抗運動会を開催致しました。
- ④記念品の実施** コロナ禍の為、皆様に日々活用して頂ける記念品にしようと考え、消毒セットを贈呈させて頂きました。

どの事業も、皆様の御協力を頂き無事終わることができたこと御礼申し上げます。今後は、歩んできた歴史を大切にしながら、次世代を担う子ども達の幸せを愛をつないで実現するよう努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

タイトル変更

このたび松代福祉寮だよりのタイトルが新しくなりました。お気づきになりましたか？新たに「なないろ」という名前になりました。ロゴも作り直しました。「なないろ」は虹に由来しています。松代福祉寮の小さな7つのお家を虹の家と呼んでいます。それは長野県内で最初に地域小規模児童養護施設を開所する時当時の子ども達が付けてくれた名前です。

「寮にはさあ、いろんな個性の子ども達がいるよね。虹の色みたいだね。じゃあ虹の家でいいんじゃない？」という感じで名前が付けられました。「鳥は施設を力強く羽ばたいていく子どもをイメージしました。羽ばたいていく先が虹や光で輝いて欲しい」そんな私たちの願いも込められています。どうぞ地域の皆さま、これからも「なないろ」を宜しくお願い致します。

(株)ヒオキ楽器 ピアノ寄贈

音楽の喜び ～学びたい子みんなに～

ヒオキ楽器さんからの贈り物



10月に開催された虹寮祭にて、株式会社ヒオキ楽器様によるピアノ贈呈式があり、ピアノと電子ピアノを贈呈していただきました。

「当たり前音楽を学ぶことができない子ども達に、その場を提供したい」そのようなお気持ちからご提案をいただきました。併せて子ども達へのレッスンも月1回ではありますが始めました。現在、希望した5人の子供達もレッスンを受けています。時間のある時に担当職員と一緒にピアノを弾いている姿も見かけるようになりました。ゆくゆくは発表会も開催したいとの話もあります。

ピアノが上手に弾けなくても、何かに夢中になったり、音が心の癒しになったり、単純に音を楽しんだりすることで、音楽が心のよりどころとなり、毎日の生活が少しでも豊かになってくれたらと願っています。

今後は、近隣の他施設でも同様の活動を展開していきたいと



このことです。楽器の購入費などを賄うため、この活動の趣旨に賛同していただける企業様を探しているそうです。地域の皆様、宜しくお願い致します。ヒオキ楽器様の御厚意に感謝いたします。

虹の家 移転新築



平成15年10月1日、土地建物は長野市から借り受け、清野の地に県下初となる、地域小規模児童養護施設「虹の家」が開所する事となりました。

それから20年。開所当初は、長期にわたり家庭復帰が難しい子ども達を、少人数の家庭的な環境の中で育み、社会自立を支援する事を大きな目的としていましたが、ここ20年で子ども達を取り巻く環境も、ニーズも大きく変化する中で、個別ケアが必要な時代となりました。様々な理由で入所をしてくる子ども達。親元や住み慣れた環境を離れ傷つく子ども達を、より家庭に近い形で、それぞれに合った支援とケアをし、癒していくことが大きな目的へと変化してきました。

この20年、清野の地で多くの方が虹の家の児童や職員の事を気かけ、温かく見守って下さいました。時には子ども達の挨拶が元気だったと伝えに来て下さる方、取れたお野菜を持ってきてくださる方、子どもの送迎の協力をしてくださった方、職員を気かけ、地区の事を一から教えてくださった方。この清野の地に住むことで互いに助けたり、助けられたりする姿、多くの大人に見守られ、愛されてきた事が子ども達にも伝わっておりました。

今回、建物の老朽化に伴い令和5年4月、この住み慣れた清野の地を離れ、東条に移転することとなりました。ここでの20年、多くの子ども達が多くの職員がこの地域の方に見守られ、生活ができた事に改めて感謝申し上げます。



虹の家II

今日は学校の課外授業のために、お弁当を持って行く日。小中学校ではお弁当を持って行く機会は少ないので、一大イベントです。数日前からリクエストを聞きます。「さけるチーズ!」と第一声。「唐揚げ、ウィンナー、おにぎり。おにぎりの中身は鮭がいいな。」希望のメニューが飛び交います。子どもの喜ぶ顔が見たくて、私たち職員も気合が入ります。「彩を考えると、ブロッコリーの緑、ミニトマトの赤、卵の黄色もほい。果物はりんご。」調理して弁当箱に詰める作業も楽しい時間。帰宅した子どもから「お弁当美味しかったよ。」と元気な声を聞き、空の弁当箱を見ると、嬉しくてひそかにガッツポーズしています。



虹の家IV

物作りが大好きな虹IVの子ども達。年末にはみんなでスライム作りをしました!絵の具や、キラキラのラメと一緒に自分好みのスライムを作っていました。Aちゃんが「夏に作った時よりうまくできたよ」と、夏に家の中でお祭りをした時のことを言うと、「あれやったね」「これ楽しかった」とみんなで一年の振り返りが始まりました。遊びの終わりには、「またやりたい!」と子ども達に好評のスライム作りでした。コロナ禍で行動制限が掛かる中、共に過ごす時間が長かった一年間。スライム作り以外にも家の中で出来る事を沢山見つけられました。来年もみんな仲良く、絆深まる一年にしたいです。



虹の家VI

去年の11月に戸隠へデイキャンプに行ってきました!!コロナ禍でなかなか外出が出来ていなかったのが久々の遠出でした。キャンプ場についたところでBBQをしました。みんな腹ペコだったようでキャンプ場の景色や自然を眺めながらお肉や焼きそばに夢中になっていました。食後はキャンプ場を少し散歩したり川で水切りをして大自然を楽しみました。そのため帰り頃には皆くたくたくと車の中で眠っていました(笑)子ども達のたくさん笑顔や楽しむ様子が見られた一日でした!今年もコロナ禍ということで制限されることもありますが、出来る限り子ども達が、寮の中では味わえない体験をさせて行けたらと思います。



お知らせ

今年は、ご近所の方や関係者の方よりたくさんのもち米を頂きました。本当に、ありがとうございます。1月から3月にかけて、子ども達にはお餅にまつわる話をたくさんしています。全国のお雑煮の食べ方からひな祭りのひなあられまで...。お餅一つでこんなにおいしい食べ方があるのかと、先人の知恵には驚かされるばかりです。また、日本のお餅の始まりのお話もしました。所説ありますが、「縄文時代から食べられていたそうで、最初は赤米というお米を使って赤いお餅を食べていたらしいよ!」と話す時、子ども達は驚いた顔をして、「どんな味かな?」と想像を膨らませていました。



編集後記

この度「松代福祉寮だより第34号なないろ」を発刊できること大変うれしく思うと共に、日頃の地域の皆様からの御理解と御協力で深く感謝いたします。今年度も子ども達の生活は新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。家族に会えない、外出できないなどの行動制限を余儀なくされました。そんな中ではありますが、松代福祉寮は無事に創立70周年を迎えることができました。創立当時の子ども達への思いを受け継ぎながら、変化の激しいこれからの時代へ思いをつないでいくことが私たちの使命です。それには地域の皆様のご協力も必要です。今後も松代福祉寮の子ども達と職員を宜しくお祈り致します。末筆ではございますが、皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。(編集委員)

お知らせ

マツシロデ | サトオヤシマセンカ?

里親さんが足りません!

家庭を必要としている子ども達のために、
あなたも里親になりませんか?



里親と聞くと、「その子の親になる」と思ってしまうかもしれませんね。

長い間は無理だけど短期間ならできるよ

乳幼児なら預かれるよ

といった里親さんもいます。

里親さんのサポートは任せてください!

少しでも関心のある方は、ご連絡ください。担当: 里親支援専門相談員 玉井